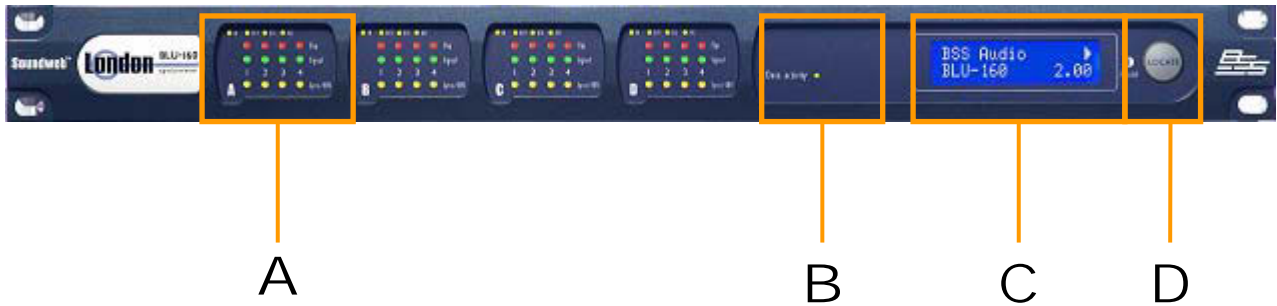


Soundweb London BLU-160/120 インストールガイド



■ フロントパネル

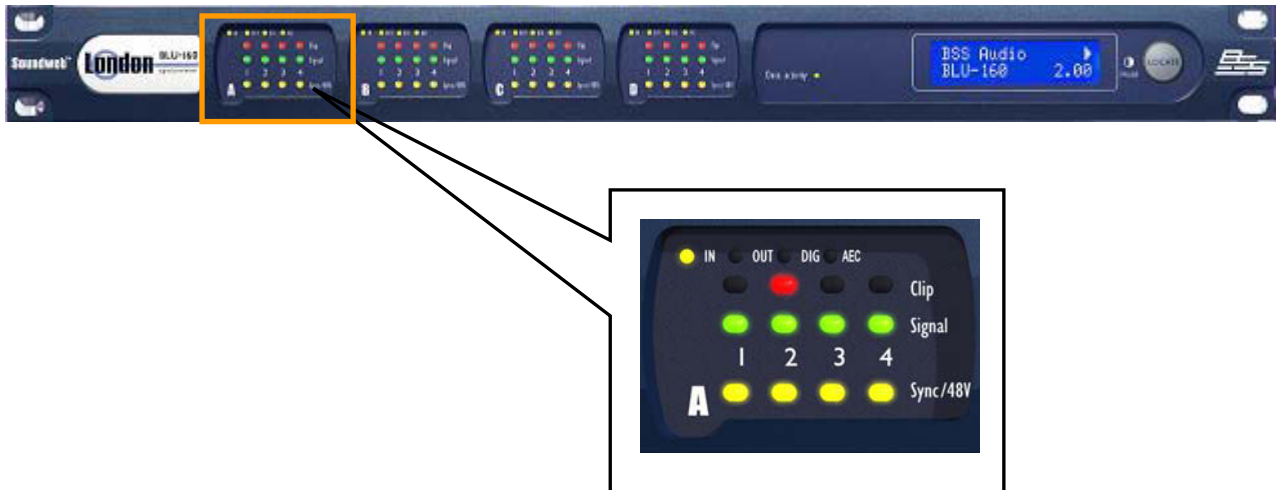
● 各部名称



- ◆ A. チャンネルインジケーター
- ◆ B. ネットワークインジケーター
- ◆ C. LCDディスプレイ
- ◆ D. LOCATEボタン

■ フロントパネル

● チャンネルインジケータ



- ◆ **IN**
各スロットのカードがインプットカードであれば点灯します。
- ◆ **OUT**
各スロットのカードがアウトプットカードであれば点灯します。
- ◆ **DIG**
各スロットのカードがデジタルのインプット／アウトプットカードであれば、それぞれINかOUTとともに点灯します。
- ◆ **AEC**
将来対応AECカード用のインジケータです。
- ◆ **Clip**
インプットカード、またはアウトプットカードの各チャンネルに対して、アナログ段でのクリップを表示します。
- ◆ **Signal**
インプットカード、またはアウトプットカードの各チャンネルに対して、 -20dB 以上のシグナルが入力、または出力されると点灯します。
- ◆ **Sync/48V**
+48Vのファンタム電源がオンになると点灯します。
デジタルインプットカードの場合、シンクしていると点灯します。

■ フロントパネル

● ネットワークインジケータ

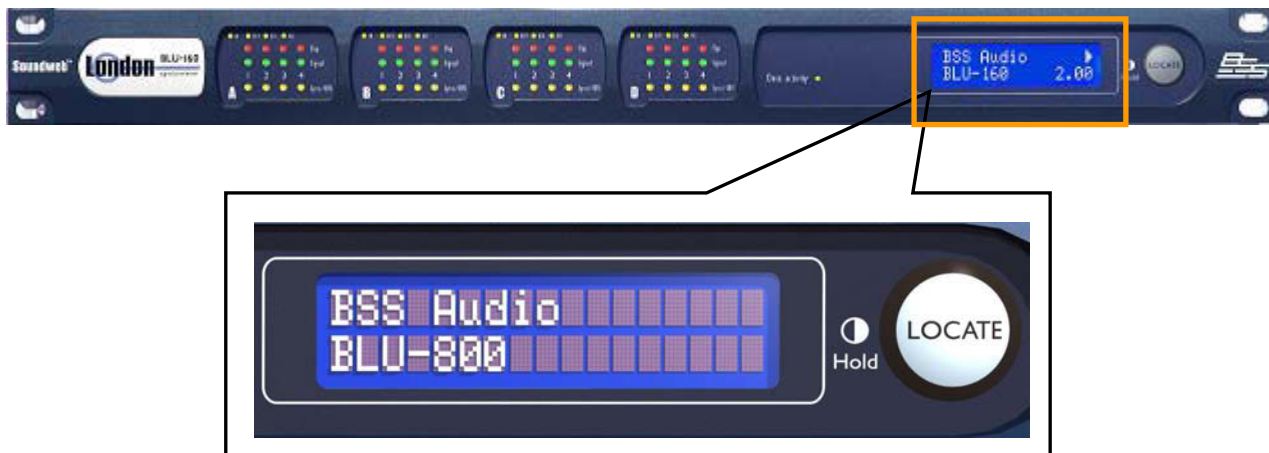


◆ Data activity

デバイスが別のデバイスとデータのやりとりをしている場合、点滅します。

■ フロントパネル

● LCDディスプレイ



◆ LCD

上段は、デバイス名とプログラムのステータスを表示します。
下段は、時間、IPアドレス、サブネットマスク、モデルナンバーとファームウェアのバージョンを表示します。

■ フロントパネル

● LOCATEボタン



◆ LOCATE

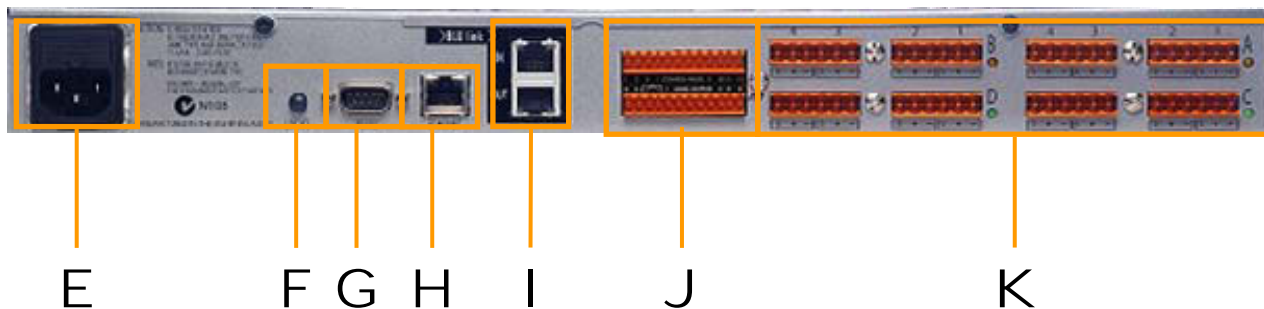
LOCATEボタンを押すことにより、London Architect上でデバイスを判別することが出来ます。

リアパネル、またはLondon Architect上でLocateスイッチを押すとフロントパネルのLOCATEが点滅します。

LOCATEボタンを押し続けるとLCDのコントラストが変わります。

■ リアパネル

● 各部名称



- ◆ E. 電源ケーブルコネクタ
- ◆ F. Locateスイッチ
- ◆ G. RS232端子
- ◆ H. Ethernet端子
- ◆ I. BLU Link端子
- ◆ J. Control Port端子
- ◆ K. I/O接続端子

■ リアパネル

● 電源コネクタ



◆ 電源ケーブルコネクタ

100～240V、50／60Hzで動作します。

■ リアパネル

● 外部機器制御



◆ Locate

Locateスイッチを押すとフロントパネルのLOCATEボタンが点滅します。
同時にLondon Architect上でもデバイスを判別することができます。

◆ RS232

外部機器制御用RS232C接続端子です。

◆ Ethernet

デバイスをコントロールする為のイーサネット接続端子です。

■ リアパネル

● Control Port



◆ Control In

汎用入力端子です。
12入力あります。

◆ Logic Out

汎用出力です。
5Vを出力します。

◆ C

コモン端子です。

◆ R

リファレンス出力端子です。

◆ Opto Output

ウォッチドッグ用端子です。

